

横浜キネマ倶楽部 第13回上映会

# 歡喜の歌

2008年/112分

立川志の輔の  
落語大書。



原作 ♪ 立川志の輔  
新作落語「歡喜の歌」  
監督 ♪ 松岡錠司

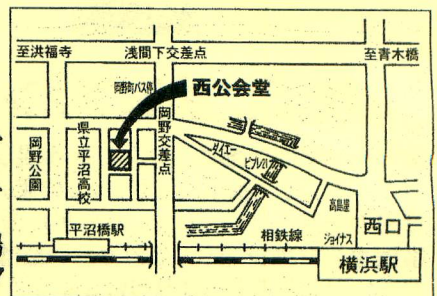
小林 薫 / 安田成美

伊藤淳史 / 由紀さおり  
浅田美代子 / 藤田弓子

12月7日(日)横浜市西公会堂

上映時間 ①13:00 ②18:00 各回30分前開場

主催・電話予約 ▶ 横浜キネマ倶楽部 045-332-2837



[前売券]一般(大学生以上)1,000円 / 中高生・シニア(60才以上)800円 [当日券]各200円増  
[プレイガイド]有隣堂伊勢佐木町本店TEL261-1231 / 伊勢佐木書林(旧先生堂古書店)TEL251-7588  
高橋書店(元町)TEL664-7371 / シネマジャック&ベティ(黄金町)TEL243-9800

きつとあなたの心にあかりを灯す、笑いと涙の音楽喜劇

# 歡喜の歌

2008年/112分

原作♪立川志の輔 新作落語「歡喜の歌」

監督♪松岡錠司

出演♪小林 薫/安田成美

伊藤淳史/由紀さおり/浅田美代子

田中哲司/藤田弓子/根岸季衣/光石研



♪ 現代社会を生きる庶民の悲喜こもごもを、絶妙の観察眼で切りとった語り口で、今「もっともチケットの取れないライブ表現者」と言われる落語家、立川志の輔。その最高傑作に数えられる新作落語「歡喜の歌」がついに映画化された。優柔不断で事なかれ主義なのに、なぜか憎めない主人公・

飯塚主任を演じるのは、実力派小林薫。多忙な日々を追われながらも、みんなと歌う喜びを諦めない凛とした主婦コーラスのリーダー役には、本作が6年ぶりの映画復帰となる安田成美。大ヒット作『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』の松岡錠司監督の指揮下、珠玉のアンサンブルを奏でる。

## 大晦日にWブッキングが発覚?! みんなの「歡喜の歌」は響きわたるのか?!

暮れも押し迫った12月30日、小さな町を揺るがす大事件は1本の電話から始まった。「はい、みたま文化会館です。明日のコンサートの予約の確認ですね。『みたま町コーラスガールズ』さん…大丈夫ですよ。お待ちしております」。いかにも調子よく応えるのは、文化会館の飯塚主任。ところがその直後、とんでもない

事態が発覚する。「みたまレディースコーラス」と「みたま町コーラスガールズ」。よく似たグループ名を取り違えた彼は、なんと大晦日の会場をダブルブッキングしていたのだ! 最初は「何とかなるだろう、どうせオバサンの暇つぶしだし」とタカを括っていたものの、この日のために1年間頑張ってきた“ママさん”たちは、双方一步も譲らない。安定の上にあぐらをかき、人生テキトーにやりすごしてきた中年公務員は、合唱にかける彼女たちの情熱に右往左往するばかり。さらには夫婦の危機から溜めた飲み屋の勤定まで、日頃のツケが一気にまわってきて…。はたして飯塚主任の運命は? 懸命に練習を重ねてきた“ママさん”たちの「歡喜の歌」は、大晦日の町に響きわたるのか?! ごく普通の人たちが起こす、ささやかな日常の奇跡——。忘れかけた真心を歌にのせて贈る、ハートフルな音楽コメディが誕生!



## 横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくろう

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月に発足しました。「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げ、上映会を行ってきました。

毎回の上映会には、励ましの声が多数寄せられ、大いに勇気づけられています。

横浜キネマ倶楽部は、これからもねばり強く活動を続けていきます。夢の実現に向かって一緒に活動しませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

〈これまでの上映作品〉

第1回『美しい夏キリシマ』 第2回『パッチギ!』 第3回『カーテンコール』 第4回『二人日和』 第5回『ゆるる』  
第6回『トリノ、24時からの恋人たち』 第7回『長い散歩』 第8回『天空の草原のナンサ』 第9回『イノセント・ボイス—  
12歳の戦場—』 第10回『モーターサイクル・ダイアリーズ』 第11回『恋するトマト』 第12回『シッコ』